

# 町政を問う

## 町民のくらしの福祉を第一に



幅田千富美

### 暴走政治にノーを

町長

### 安倍政権は民意の反映

#### 安倍暴走政治の防波堤になって

**幅田** 「消費税は福祉のため」といながら大幅削減。米価暴落と年金引き下げ、物価高、給料は上がらない。TPP推進雇用破壊のアベノミクスと戦争する国づくり。町民の不安は広がっている。現状認識とその対応は。

**町長** 町の経済を計るデータはない。圏域内では個人消費弱いが、私の皮膚感覚では取り戻しつつある。安倍政権は民意の反映。  
**幅田** 地方自治体は、暴走政治から町民のいのち・くらしを守る防波堤の役割を果たすべき。

#### 国保引き下げ 県への「広域化」に反対を

**幅田** 高い国保税の引き下げ。払えない人から保険証取り上げ中止。①国の責任で一人一万円引き下げ。②減免制度拡充③貧困打開の収納対策④運営主体を県に移行する「広域化」に反対を。

**町長** 引き下げる状況にない。収納は丁寧な対応に心がけている。県への移行は、私は推進派。

**幅田** 申請減免はゼロ。福祉事務所設置の町としてケースワーカーを配置し、苦しむ町民に寄り添う対応を。

#### 高校生まで医療費の無料化

**幅田** 現在、中学生まで無料だが、県の制度化に

伴い、町は高校生まで拡大しないか。また、窓口負担ゼロに。

**町長** 県知事選で公約されている、その結果を見ながら。

#### 高校生の通学定期券の助成を

**幅田** 高校生のバス・列車の定期券助成制度の新設で、父母負担の軽減を図らないか。

**町長** 高校生は県での対応。

**教育長** 授業料無償化等、状況は改善している。

**幅田** 児童福祉法では18才迄が対象。父母の経済状況は10年、15年前と比べ激変している。

希望ある育ちを支援する町に。

### 掲載記事への補完説明とお詫び

読者の皆様へ

2015年1月25日発行の伯耆町議会だより12ページについて下記のとおり補完説明とお詫びを申し上げます。

平成26年12月定例会での  
幅田千富美議員の一般質問記事に関連

#### 新制度における認可施設の公的保障状況の比較

認可園	認可	法的責任	財源	(公的保障度)	
保育所	厚労省	市町村責任	市町村委託費	Aランク	
幼稚園	給付型園	文科省	設置者責任	親への施設型給付金のみ	Dランク
	私学助成園	文科省	都道府県責任	私学助成補助金	Cランク
幼保連携型認定 認定こども園	内閣府	設置者責任	親への施設型給付金のみ	Dランク	

- 上記の表は、平成26年11月24日、鳥取県立福祉人材センターで行われた保育研究所長村山祐一氏の講演会資料（幅田千富美議員からの申出及び資料提供）から示されたものです。
- 表中「(公的保障度)」のAランク、Cランク、Dランクの評価は上記1の出席元によるランク付けである。
- 今後、「伯耆町議会だより」に掲載するデータについては読者の皆様へ誤解を招かないよう配慮することとし、お詫びいたします。

平成27年4月25日伯耆町議会広報常任委員会